

台東ボランティア・地域活動サポートセンター情報誌

OMIKOSHI

わっしょい

2018年11月

第62号



情報誌「わっしょい」に込めた思い…

私たちが住んでいる社会には、たくさんの重くて大きい問題が山積しています。高齢者層の問題、環境汚染の問題、福祉の問題、家族の問題、教育の問題と数え上げれば、本当に多くの問題があります。私たちはその問題を前に、尻込みをしてしまいます。けれども、一人では持ち上がらなくても皆で力を合わせれば持ち上がるかもしれません。そうです、ワッショイです。ワッショイとかけ声をかけてみんなで持ち上げてみたいのです。そんな願いをこめて「わっしょい」と名づけました。



団体紹介

今回、地域で活動する団体さんを広く知ってもらおうという目的で団体紹介コーナーを不定期で復活させることとなりました! 復活記念1回目としてセンターでは「イザ!カエルキャラバン!(子供達のための防災体験プログラム)」でお世話になっている特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会さんをご紹介します!!

Q1 日頃の事業について

リアルタイム地震・防災情報利用協議会(略称: REIC (レイク))は国内外の関係機関と協力し、地震・洪水・津波等のリアルタイム防災情報の活用によって、災害軽減に貢献することを目的として設立しました。主な活動内容は、緊急地震速報(予報)配信事業、防災情報の利活用に関する啓発・普及事業などです。また、地域貢献活動としては、防災イベント等を通じて、子供達への防災教育や市民への防災研究の普及などを行っています!



緊急地震速報(予報)表示画面
…REICが配信している
緊急地震速報のイメージ図

Q2 台東社協とのつながり

台東社協の防災イベントの一つである「イザ!カエルキャラバン!」では子供達に自然災害や防災について興味をもってもらうことを目指しています。子供達に防災教育を行い、台風や地震などの自然災害の仕組みを知ってもらう事で、子供達の行動が、大人達の避難行動等につながる場合があります。子供の防災教育は、災害時の自助・共助に直結する活動だと思っています。



カエルキャラバンで
防災の紙芝居を
担当しました!
子供達が真剣に
お話を聞いています。

最後に

自然災害は予告なしに突然やってきます。首都直下地震や豪雨災害等、台東区も大きな被害を被る可能性があります。日頃から、地域の特性を知り、近隣との関係を築き、防災について関心をもつことが、いざという時の助けになると思います。防災イベントや研究成果の発表、各種講演会などは、各地で開催されています。参加して防災についてみんなで考えていきましょう!

問い合わせ先

特定非営利活動法人
リアルタイム地震・防災情報利用協議会
事務局
TEL.03-5829-6368
ホームページURL
<http://www.real-time.jp>



NPO見本市 参加団体

- NPO法人カーレットジャパン協会
- NPO法人ソラノワ
- (認定)NPO法人シェア=国際保健協力市民の会
- NPO法人つなぐ台東
- 一般社団法人東京障害者就労サポート協会 こすもす浅草橋
- 社会福祉法人台東つばさ福祉会

山本さんと初コラボとなった2団体にお話を伺いました

NPO法人カーレットジャパン協会
理事長 田邊 陽二 さん

多世代、障害者、健常者が一緒にできる机上のカーリングで、長さ3m60cmの上でプレーします。考え、話し、歓声が上がリ、大変盛り上がるスポーツゲームです。各団体様とはどんどんコラボしていきたいです。

NPO法人ソラノワ
理事長 萩原 仁 さん

ブースに立ち寄っていただいた方が、その後のイベントに参加していただき、また、他の参加団体様とも繋がりを持つことができるなど、様々な出逢いを構築する上で実に有意義でした。互いに紹介しあえる時間があると尚ありがたいです。